

# 令和7年度実施 就学相談利用者アンケートの結果

## <調査概要>

- 対象世帯：152世帯（就学相談中止、市外転出世帯を含む）
  - 実施時期：令和7年7月
  - 実施方法：SMS（ショートメッセージサービス）で依頼、LoGoフォームで回答
  - 有効回答数：36件
  - 回答率：23.7%
- ※表中の数値（%）は端数処理しているため、数値の合計が100%とならない場合がある。

## Q1. お子さんの就学先

	回答数	構成比
市立小学校	23	63.9%
市立中学校	8	22.2%
都立特別支援学校小学部	3	8.3%
都立特別支援学校中学部	1	2.8%
その他	1	2.8%
	36	100.0%

### Q1 [その他]

- ・情緒の支援学級（中学校）が市内になかったので、情緒の支援学級に通学するため隣の市に転居しました。

## Q2. 就学相談を知ったきっかけ（複数選択可）

	回答数	構成比
学校・園	21	58.3%
市の発達相談	20	55.6%
医療機関・療育機関	8	22.2%
市就学相談説明会	3	8.3%
家族・知人	3	8.3%
市電子媒体（ホームページ・X・LINE等）	1	2.8%
市広報誌	0	0.0%
その他	2	5.6%
	58	100.0%

※各項目の構成比は回答した36世帯に対する割合

## Q3. 就学相談において相談したかったこと（複数選択可）

	回答数	構成比
子どもの就学・進学先（学校）における支援内容	30	83.3%
子どもの発達や行動面などの心配事	27	75.0%
子どもの学校外（放課後等）における支援内容	3	8.3%
特に相談したかったことはなかったが、人に勧められた	0	0.0%
その他	3	8.3%
	63	100.0%

※各項目の構成比は回答した36世帯に対する割合

## Q4. Q3で「特に相談したかったことはなかったが、人に勧められた」と回答された方で、どなたから就学相談を勧められたか

回答者なし

## Q5. 特別支援学級・学校の見学・体験

	回答数	構成比
見学・体験に参加した	26	72.2%
見学・体験に参加しなかった（できなかった）	10	27.8%
	36	100.0%

## Q6. 参加しなかった（できなかった）理由

	回答数	構成比
時間の都合がつかなかった	3	30.0%
申し込み期限に間に合わなかった	1	10.0%
見学・体験の機会があることを知らなかった	0	0.0%
兄姉が通っているなど、必要な情報は知っていた	0	0.0%
その他	6	60.0%
	10	100.0%

Q6【その他】

- ・就学先はひとまず通常の学級にと決めていたから。
- ・通常の学級に行けそうだと判断したから。
- ・通常の学級を希望しており、医療機関や発達相談でも通常の学級でも可能だろうと伺っていたため見学を希望しなかった。
- ・特別支援学校の話を聞いたとき、その内容が自分の子供と合わないと思ったから。
- ・本人が姉がいる小学校に行きたいと言っていたので他の学校見学には行かなかった。
- ・見学に行ける日時の指定が少なく、かつ対象者が多く選べないかもと聞いたこと、相談途中で通常の学級への進学が決まってしまったため。

Q7. 見学・体験に参加して良かった事や改善・工夫の希望（自由記述）

- ・どのように学校生活をおくるのか一部だけでも見ることができ、また実際に授業に参加させていただけることで、実際に進学した際のイメージも付きとても良い体験だと感じました。この体験授業をきっかけに支援級へ入ることが不安ではなくなり、前向きに考えられるようになりました。
- ・不安が強いので、事前に内容がわかっていると良かった。自己紹介や知らない場所での母子分離にストレスを感じ、見学後は不安になってしまったようだった。
- ・実際に見れた事で、クラスの雰囲気や、先生方が関わってくださったり、ご指導されてる様子がわかって安心しました。
- ・相談員の方が丁寧に説明して下さり、わかりやすく、授業も普段の様子が見られて良かったです。
- ・見学までのスケジュールの調整や当日の引率・説明など丁寧に進めていただきました。見学や体験を経て、学級での様子を少しでも体感できたことは本人にとって進級にあたり良い判断材料となっていました(体験の際に優しく対応してくれた先輩や先生がいることが安心につながっています)保護者にとっても話で聞くだけより具体的に様子を感じられ良かったと感じています。
- ・就学後のイメージがもてた。
- ・実際に授業をうけられたことがよかったです。授業中の子供の様子をみて、判断できた。
- ・実際の授業風景を見たかった。体験ではイメージがわからなかった。
- ・実際の教室などを見学、体験できてよかったです。実際の授業風景なども見れるといいなと感じた。
- ・実際の現場で先生方がどのような支援や教育をされているのか見ることができたのでよかったです。見学・体験は2カ所させていただいたが、1カ所は現場の先生に不安になるようなことばかり言われたので就学する気持ちが失せたが、担当の方もそれをフォローしてくれなかったので、結局もう1カ所のほう一択のようになり、とても就学「相談」という感じではなかった。
- ・実際、どのような活動なのか、先生や児童の雰囲気等が分かって良かったのと、自分の子どもに合うか等も見られたので良かったです。見学・体験を重ねていく中で、悩むこともありましたが、体験することで就学後の子どもの様子が想像しやすくとても参考になりました。
- ・実際に学校を見学できて大変よかったです。新しい学校での生活に不安ばかりでした…。本人にも体験させていただき受け入れ方が違うと思います。
- ・実際に学校に行くので、通学路になる道と一緒に歩け、授業に参加することによって本人も小学校に入学したあの事を体験出来たのが良かった。ただ、親はその間説明を聞いてたので、少しだけでも授業の様子を見たかった。
- ・小学校へ上がる前に一度体験、一度の体験では本人は、納得しなかったが、学年が上がり、再度体験した時は、何度か参加経験があった事で、転学しようと気持ちが変わり、支援級へ転学できた。
- ・見学に行って支援学校の授業の進め方や雰囲気がわかったので、よかったです。
- ・子どもと一緒に行くことで、特別支援学級の様子がわかり、子どもも小学校の見通しがもてて良かったです。子どもたちの刺激になってしまって難しいとは思いますが、可能であれば実際に授業の様子なども見られたらありがたいと思いました。
- ・初めての場所が苦手なため、入学する前に一度でも行くことが出来たのが良かったです。
- ・実際に授業にも参加出来たりして入学してからの見通しが少し立てた。
- ・学校内や、先生、生徒たちを実際に見て聞いて雰囲気も感じられてよかったです。
- ・実際に学校の様子を見られるのは良かった。

Q 8～12. 相談員に関して

	印象や話しやすさ		丁寧な聞き取り		連絡のとりやすさ 回答のタイミング		相談の流れ 必要書類の説明		学校、必要な支援等 に関する情報提供	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
大変良かった	22	61.1%	24	66.7%	19	52.8%	21	58.3%	17	47.2%
概ねよかったです	12	33.3%	10	27.8%	14	38.9%	14	38.9%	14	38.9%
あまり良くなかったです	1	2.8%	1	2.8%	3	8.3%	1	2.8%	4	11.1%
良くなかったです	1	2.8%	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%
	36	100.0%	36	100.1%	36	100.0%	36	100.0%	36	100.0%

Q13. 就学先を検討するうえで、参考としたのは（複数選択可）

	回答数	構成比
発達検査の結果	24	66.7%
家族間の話し合い	20	55.6%
就学相談員からの情報提供	20	55.6%
学校・学級の見学	18	50.0%
担任の先生のご意見	18	50.0%
かかりつけの医師のご意見	16	44.4%
就学支援等検討委員会からの提案	14	38.9%
授業の体験の様子	10	27.8%
お子さん自身の希望	10	27.8%
相談前から一貫して気持ちが固まっていた	6	16.7%
	156	

※各項目の構成比は回答した36世帯に対する割合

Q14. 最終的に決めた就学先

	回答数	構成比
当初の意向と同じ就学先	27	75.0%
当初の意向とは異なる就学先	5	13.9%
その他	4	11.1%
	36	100.0%

Q14[その他]

- ・当初は子どもにとってどの就学先が良いのか決めかねていた。
- ・2カ所で迷っていたので、当初の意向と同じでも異なるでもない。
- ・保護者としては固めた意向はなかったので、様々な情報やご相談をさせていただき、本人と相談しながら就学先を決めることができたのは良かった。
- ・最終の提案があるまで、どこにしたいなどの考えはほぼなかった。

Q15. 就学相談で就学先に関する不安や悩みの解消

	回答数	構成比
つながった	30	83.3%
つながらなかった	6	16.7%
	36	100.0%

Q16. 就学相談で、良かった点や改善を希望する点（自由記述）

- ・我が子を客観的に評価し、検査や観察を通して進学先を考えてください、大変助かりました。本音で話して下さり、大変参考になりました。
- ・学校生活はわたくしたち親ではなく先生たちに関わっていただく場なので、現場の方達の判断が一番信頼できると思って相談を申し込みました。実際に子供の様子を見てもらって判断していただけたことに大変感謝しております。
- ・WISCの結果を丁寧に教えていただいて分かりやすかったです。子どもの接し方も丁寧で、安心しました。ただその際、担当のかたはうとうとしていてとても不快でした。入学後、近隣の小学校に情緒学級というのがあるのを初めて知り、結果通常学級に行きましたが、進路先の検討段階でその学級についても知りたかったです。
- ・元々気持ちが固まっていましたが、相談員の先生が親身に丁寧に関わってくださったおかげで、親子共々、明るく希望を持ってまた前進していく事ができました。心から感謝しています。
- ・進学先をどうするか悩んでいる話を第三者に聞いてもらえたことが良かったと思っています。
- ・子供自身何が苦手で何が得意かをより詳しく知ることが出来た。
- ・個人では様々な選択肢を具体的に知ることができていなかったので、息子に関わる方からの助言や学校での様子からの提案をいただき就学相談へ繋げていただきました。専門的な観点から沢山のお子さんを見てきた相談員の皆さんからのお言葉はとても参考になり有り難い機会でした。
- ・希望通りの提案をされなかった。理由があまり納得できないもので、やはり1回の部会だけで判断されてしまったのが良くなかったと思う。就学先の定員などの都合で判断された気がしていまだに納得はしていない。
- ・いろいろな意見を聞く中で子供にとって何がいいのか分からなくなりかけたが、話を聞いてもらい安心出来た。親が見学に行っていない時の本人の様子など聞くことができ良かった。
- ・専門家の方がさまざまなファクトから鑑みて提案をくださるところがよかったです。
- ・実際に現場に見学・体験できたのはよかったです。支援に関して教育委員会のほうは具体的な提案をしてくださらなかったので不安は解消されなかった。検討委員会の提案が出たらそれで決まりみたいな感じになり、当初担当の方が推してたほうではなく180度意見を変えられたので信用がなくなった。
- ・子どもの今後の進路等を考えると、現時点での就学先が良いか、自分たちでは見えなかつたのが、就学相談を通して、相談員の方も親身に考えてくださいり、段々と気持ちが決まっていけたので良かったです。日程的な難しさもあるのかもしれません、もう少し見学・体験の日があると嬉しいです。でもギリギリの中に臨機応変に対応していただいて、無事に進められたのがありがたかったです。ありがとうございました。
- ・発達検査をしていただき本人の能力がどのくらいなのか、どの部分が他の子と一緒に生活するにあたり難しい部分なのかを分析できたので良かったです。指先をたくさん使って脳を刺激した方がいいとかアドバイスも下さり本当に助かりました。
- ・就学先を決めなくてはいけないとき、私自身本当にしんどくて、どうしたらいいのかわからなかつたけど、相談員が丁寧に対応してくれて、就学先を決めることができた。いま、子供を支援学級にいれて本当によかったですとおもっています。
- ・いろいろな方と関わったので息子には良い経験になった。申請が携帯で出来たり、もう少し簡単だと助かったかなと思いました。
- ・就学相談を機に、初めて発達検査を受けその結果と相談員の方々の見解等いろいろ話を聞けて、いろいろ判断出来た事がとても良かった。学校に入ってどんな感じで進んでいく等の話を聞けたことで、今まで不安だった事も軽減されたので、就学相談を申し込んで良かったと思っています。こちらの不安な事等、いろいろ話を聞いてくださつたことやアドバイス等して頂いた事で親の気持ちも楽になりました。
- ・発達検査により子どもの特性をより深く理解することができた。相談終了後開示請求をして書類を確認したが、保育園記入欄の情報が、集団における子どもの状況の理解に非常に役立つ内容で、就学支援シートのみでは学校に伝達しきれなかったと思われる。
- ・計画的に進められた点。お任せ出来るマニュアルがあった。
- ・今の入学先に満足してますが、就学相談のホームページには意向と学級が違う場合保護者の意見を尊重しますと書いてありましたが、最終決定の前最初の意向と異なる学級を提示された際、どうしても希望していた学級にしたい場合はどうなのかと聞いた所、入学出来る可能性はありません。納得出来ないなら普通学級にしてはどうですかと遠回しに言われ、選択肢もない状態でした。提示された学級しか選択肢がないなら意見の尊重など関係ないのではと思いました。
- ・ウィスクの申し込みをお願いしたが、ビネー式になっていた。理由を聞いても漠然とした回答だった。ビネーになるならば、もう少し早くに教えて頂けたら、病院受診したかった。

## Q17. 就学支援シートについて（市立小学校に就学した世帯）

	回答数	構成比
就学支援シートを提出し、入学前の学校面談も行った	20	87.0%
就学支援シートを提出したが、入学前の学校面談は希望しなかった	2	8.7%
就学支援シートを提出したかったが、忙しくて作成できなかった	0	0.0%
就学相談を受けていれば資料（就学支援ファイル）が引き継がれるので、就学支援シートは提出しなかった	1	4.3%
就学支援シートというツールがあることを知らなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
	23	100.0%

## Q18. 就学先に引き継ぎされた情報の活用について

	回答数	構成比
生かされている	17	47.2%
生かされていない	4	11.1%
わからない	15	41.7%
学校に情報を提供していない	0	0.0%
	36	100.0%

## Q19. 就学支援シートや就学支援ファイルの活用について（自由記述）

- ・進学先にあらかじめ、我が子の情報が提供されていて、入学前の面談時もスムーズに進みましたし、入学後の今も担任の先生や他の先生方に我が子を知ってもらうのにとても役に立っています。
- ・私から見た息子の様子だけでなく、専門の先生方など、様々な視点から見た息子の様子や必要な支援、課題など、良い所も含めて書いてくださっているので、共有できている事が私の安心にもつながっています。また、息子が頑張れたり楽しく学校に通える事にも繋がっていると感じています。
- ・まだ学校で面談もないで、支援シート?支援ファイルがいかされているのかわからないのですが、今のところ子どもが元気に学校に行けているので、効果はあると思っています。
- ・市の担当者の方の判定と医療機関での判定とは一致する箇所は多々認められるが、保育園の判定があまりにもかけ離れていたので進学の際どちらに重きを置けば良いのかと思いましたが、市や医療機関の判定の方に重きを置かせていただきました。より詳しい判定を書いてくださいありがとうございました。それを参考に自宅学習に活用させて頂いています。
- ・今現在も困り事と共に進んでいる子が多くいると思います。当たり前のことのように必要な支援やサポートが皆さんへ行き渡ることができたら良いなと思います。また、息子は支援学級へ進学したことにより小学校の頃より友達との関わりの中で「からかい」などが多くなく良い感じだと話していました。どの子にとってもなるべく心穏やかに過ごせる環境で学べるよう願っています。沢山のお力添えをいただきありがとうございました。
- ・学校や先生によって配慮のレベルが違うので重要性を認識されてない感じがする。入学後のサポートがあるようなことをいわれたが、親に連絡はないのでどう扱われているか不明。
- ・支援学校ではなく支援学級で行けるとは言われ、中学校支援級に進んだが…。学校からあれができないと困るなどいろいろ言われる。身体不自由や特徴を理解しての提案とは思えないこともあり困惑があった。これで良かったのか、考えることがある。
- ・就学支援ファイルは量が多くて書けない。選ぶだけのフォーマットや、せめて15枚ほどにまとめてほしい。先生も全部は読み解ききれない。
- ・学校側は就学支援シートをあまりみてないきがします。
- ・記入するのが大変でした。
- ・就学前に色々分かり不得意分野のことに対して先生がサポートして下さっています。
- ・幼稚園の担任の先生にもたくさん記入してもらったりしていて、園で先生が子供のことを見てくれていたんだと知ることができた。
- ・幼稚園の先生等に、支援シートはこんな風に書いてください等の指示があるといいのかなと思います。支援シートの在り方等、初めて書く先生にもわかるようになっていると、親側も納得いく内容に書いていただけると思います。先生達によって考え方方が違うと思うので、対面したことない小学校側に支援シートでその子のことをどう伝えられるかが大事だと思います。
- ・こんな困り事の場合には、このように対処すると良いという形で記載したが、学校の先生が生かすにあたりどのような書き方が望ましいか例示があると有り難い。